

第3回定例会は、12人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ（12月掲載予定）をご覧ください。



野月一博  
(高志会)

## 狭隘道路の拡幅整備を きょうあい

## 後退用地の取り扱いを 検討中

議員 狹隘道路の拡幅  
整備について、平成二十四  
年第一回定例会では、現

状は主要幹線道路の整備を優先しているが、地域で用地を確保した場合には優先的に整備するとの答

**建設部長** 拡幅整備は用地補償に多額の財源を必要とするところから、後退用地が確保された路線をしており、現在一路線の事業を実施しています。また確実な道路幅員の確保を

狭さ

**健康福祉部長** 福祉避難所として協定の締結を進めている施設は、特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、デイサービスセンター、障害者福祉施設、保育所、その他

**議員** 姿勢は評価するが、もう少しスピード感が必要では。  
**企画財政部長** 前倒しして進められるものは、早期実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

**議員** 災害時に特別な配慮が必要な方が避難する、福祉避難所を設置する考えは。

情報共有等、簡易水道の共同利用の研究・検討、職員研修交流事業、職員人事交流事業の五事業について、既にワーキンググループを開催し、関係市町村と検討を進めていきます。

図るため、建築基準法にのつとった後退用地の取り扱いについて条例化の検討を進めることにしています。現在、庁内検討会及び外部有識者九名で構成する十和田市都市づくり推進委員会を組織し、今年度末をめどに制度づくりを進めています。

の合計で三十七カ所、受け入れ可能人数は六百五十二名です。

**議員** 定住自立圏の新規十二事業の取り組み状況は。

**議員** 近年、空き家の増加が問題視されている。老朽化した空き家が放置されると、倒壊の危険や犯罪の誘発など周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されるが、当市の現状は。

**民生部長** 平成二十五年三月に、倒壊及び建築材



桜田 博幸

**民生部長** 条例制定は、放置された老朽空き家の倒壊の危険性、犯罪防止の対策としては有効な手段であり、セーフコミュニティの推進という点からも非常に重要と認識して

壁面の一部または全体的に破損があるなどの危険度中が二件、外壁が飛散するおそれがあるなどの危険度小が三十一件、危険度のないものが百七十九件、合計二百七件です。

等の飛散などの危険な空き家の状況を把握することを目的に、市街地における実態調査を行いました。その結果は、全体に傾きがあり、または傾きがないが屋根の大部が陥落または外装材が腐敗あるいは剥離しているなど

**議員** 今夏の参議院議員選挙は投票率が低調だった。三沢市の取り組みを参考にする考え方。

**選挙管理委員会委員長**  
三沢市では、三沢市商工工会が選挙を通じ地域の活性化につなげる趣旨で、投票所に訪れた有権者に加盟店で使えるサービス券を配りました。その結果、三沢市は県内市部の平均投票率を大きく上回りました。どのような取り組みが有効か、県内各市の取り組みも参考にしていきます。



参議院選挙の投票風景より